

謹 啓

盛暑の候ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年、西日本を襲った平成30年7月豪雨災害では、本市において初めてとなる大雨特別警報が発表され、高梁川水系の小田川とその支流において、堤防が8箇所で決壊、7箇所の一部損壊・損傷した結果、真備地区の約3割にあたる1,200haが浸水し、その深さが5mを超える未曾有の大災害となり、かけがえのない市民の生命と財産が奪われました。

こうした中、全国の皆様から様々な形で御支援・御協力を賜り、感謝の念に堪えません。皆様の心温まる御厚情に対し、心からお礼を申し上げます。

現在、出水期を前に河川の決壊部分の本復旧工事も完了し、また、小田川と高梁川の合流地点を下流に付替える、国の抜本的治水対策事業については、工期を大幅に短縮し、令和5年度の完成に向けて工事を進めているところです。

災害から一年となる7月6日には、市主催の追悼式を真備支所において挙行し、災害でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、今後の復興への誓いを新たにいたしました。

また、今年を「復興元年」と位置付け、3月に策定した「真備地区復興計画」に基づき、災害からの復旧・復興に向けた事業を進めるとともに、災害に強いまちづくりに、全市一丸となって取り組んでおります。

何よりも被災された方々が、一日も早く安らぎと笑顔を取り戻せることを第一とし、豊かな自然と歴史・文化のある真備地区の未来に希望が描けるよう、官民挙げて取り組んでまいります。

末筆ながら、皆様の今後ますますの御健勝・御発展を心からお祈り申し上げ、お礼とさせていただきます。

謹 白

令和元年7月31日

ヤマハピアノサービス株式会社

代表取締役社長 江塚 浩久 様

倉敷市長 伊 東 香 織